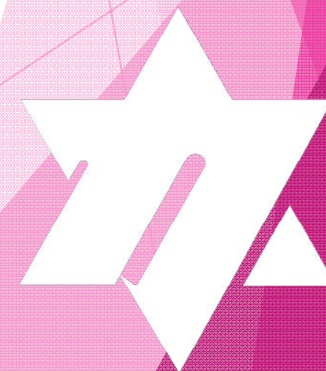


コミュニティ・スクール について

自治会連合会社会部会の皆様へ

鹿沼市教育委員会事務局



1. コミュニティ・スクールとは



コミスク＝

学校運営協議会を設置した学校

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)



2. 学校運営協議会とは

任命された委員(保護者、地域の代表者など)が学校運営に必要な支援を話し合う合議体のこと

(委員) 保護者代表・地域住民
地域学校協働活動推進員 など



学校運営協議会

学校運営への必要な支援に関する協議

学校評議員制度

評議員が個別に校長に意見を述べる仕組

学校運営協議会制度

学校運営について校長を含めた委員で課題
となっていることを合議制で熟議する



学校・家庭・地域の一体性の高まりの期待

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

学校運営協議会規則(教育委員会規則)

学校運営協議会 <合議体>

※合議体・・・複数の構成員の合議によってその意思を決定する組織体

コミュニティ・スクール
(学校運営協議会を設置した学校)



校長

学校運営の
基本方針

学校運営・
教育活動

説明

承認

説明

意見

学校運営に
関する意見

教職員の任用
に関する意見

委員：保護者代表、地域住民
地域学校協働活動推進員など

協議の結果に係る
情報提供の努力義務

情報提供・協議を
踏まえた支援活動

保護者・地域住民等

市区町村
教育委員会

協議会の設置
委員の任命
協議会の適正
な運営を確保
する措置

都道府県
教育委員会

〔教職員の任用
学校運営協議会
の意見を尊重〕

学校教育法施行規則

学校管理規則

学校評議員

※合議体ではない

学校

学校評議員

評議員：職員以外の者

校長の求め
に応じて

学校運営に
関する意見

校長

市区町村
教育委員会

〔評議員の委嘱
校長の推薦〕

3. 委員について

教育委員会が任命

(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)



地域住民、保護者、対象学校の運営に資する活動を行う者、その他教育委員会が認める者
(対象学校の教職員、学識経験者、関係行政機関職員等)

- ・ 特別職の地方公務員

- ・ **守秘義務**

※時に個人情報扱う



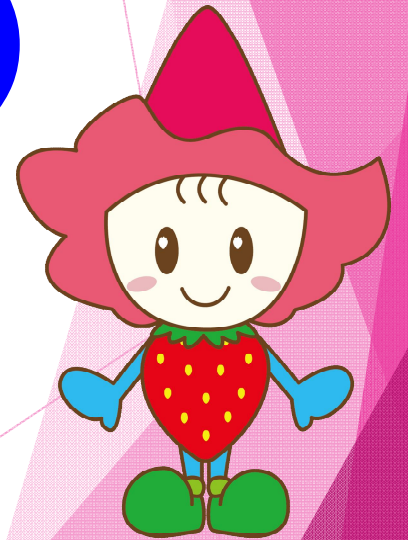
4. 委員の役割（熟議）

学校の運営・課題を自分事として考え（熟慮）、
その解決のために意見を出し合う（議論）

- ・ 校長の学校運営の方針の承認
- ・ 学校運営について
- ・ 教職員の任用



5. なぜ、コミュニティ・スクール （学校運営協議会） なのか



◆教育環境を取り巻く状況

- 児童生徒数の減少
- 子供の規範意識等への課題
- 学校が抱える課題の複雑化・困難化

◆社会の動向

- 少子高齢化の進行
- グローバル化や情報化の進展
- 地域社会のつながりや支え合いの希薄化による地域の教育力の低下

◆教育改革の動き

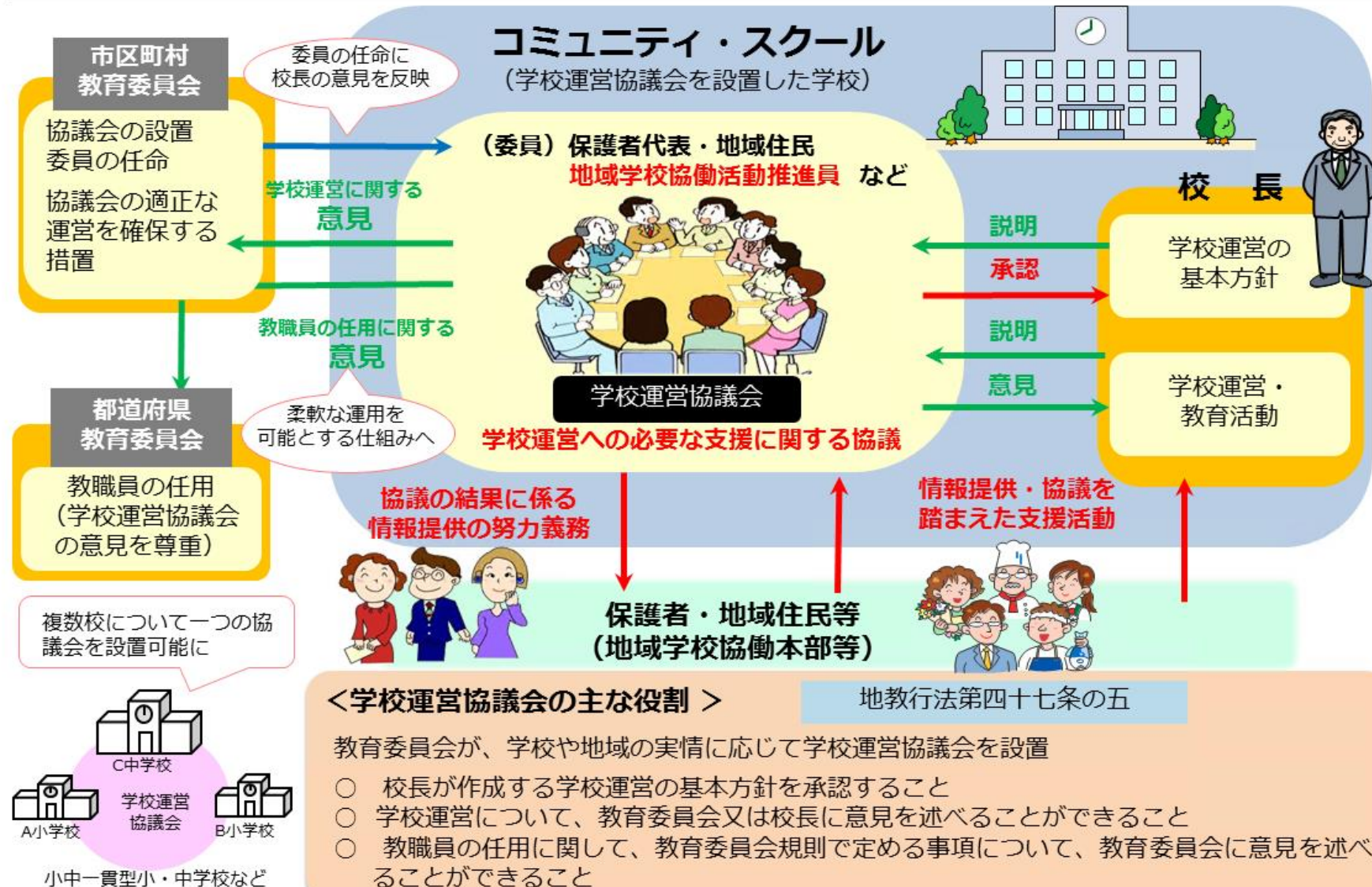
- 「社会に開かれた教育課程」の実現など

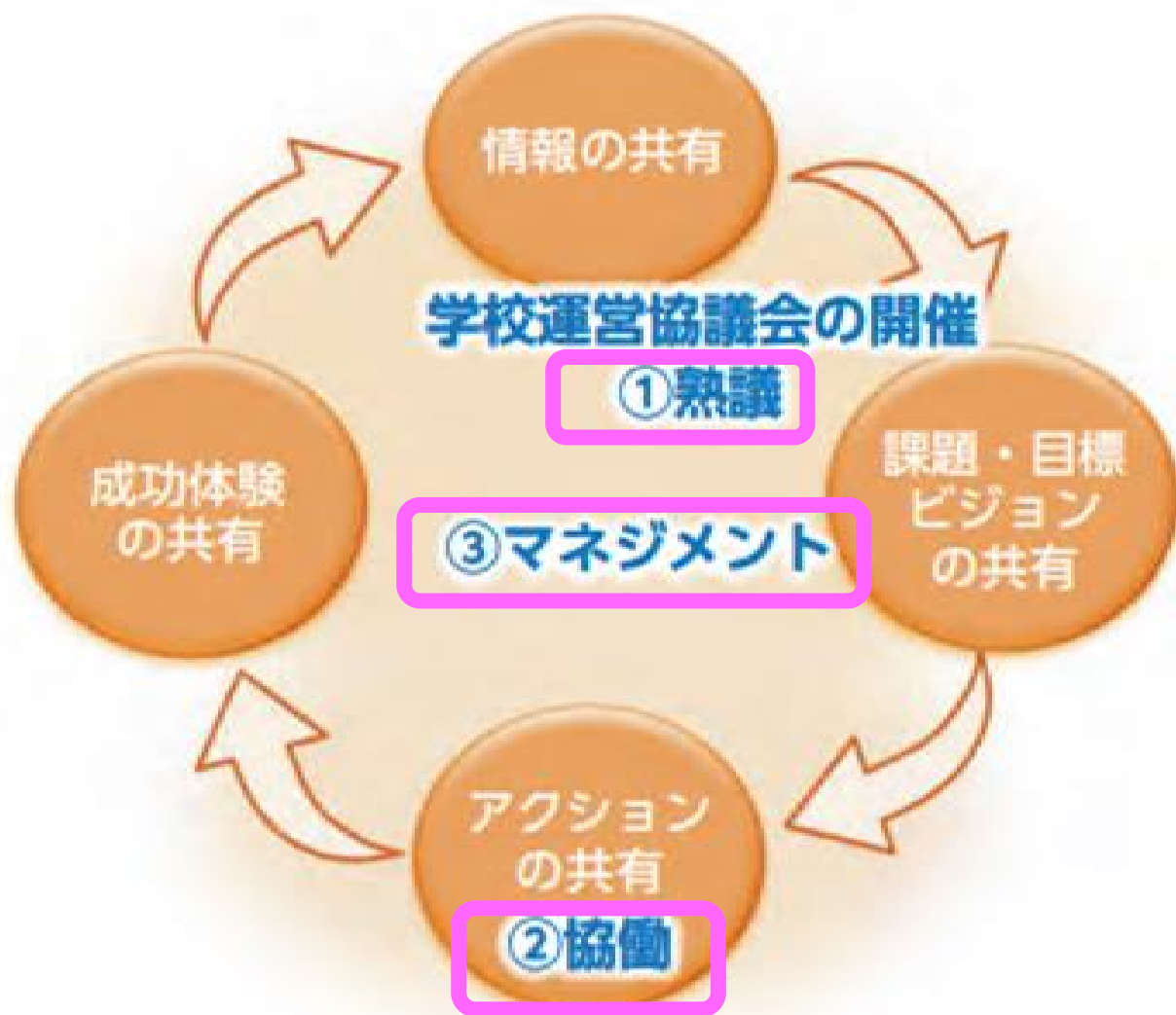
◆地方創生の動き

- 学校を核とした地域の活性化

地域とともにある学校へ

コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の仕組み





① 熟議

熟議とは、多くの当事者による「熟慮」と「議論」を重ねながら課題解決を目指す対話のことで、活発な議論により、的確に多くの人の意見を反映することができます。

【具体的なプロセス】

- (1) 多くの当事者（保護者、教職員、地域住民等）が集まって、
- (2) 課題やビジョンについて「熟慮」し、「議論」することにより、
- (3) 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- (4) それぞれの役割に応じた解決策や方策が洗練され、
- (5) それぞれが納得して自分の役割を果たすようになる。

<ポイント>

学校や子供たちの課題等を学校だけで抱え込んでしまうのではなく、保護者や地域住民等、多様な関係者とともに「1つのテーブルにつくこと」です。そこで新しいアイデアや考え方が生まれ、今後の方針を決めていくたくさんのヒントが得られます。

【熟議：例】

A小では「子供たちに家庭学習の習慣が定着していない」という課題が。そこで…、

<熟議のテーマ>

子供たちが自ら机に向かう習慣を身につけるために学校・家庭・地域ができることは？



(教師)
朝学習で算数のドリルをやらせてみたらいいのでは？

(保護者)
もっと魅力ある授業を展開してほしい！



(地域住民)
保護者同士で「熟議」をさせてみては？

(地域住民)
子供の自主性を言う前に、まず、大人が学習する機会を設けるべきではないか？

そんなアイデア、考え方があったんですね！



→「すぐにできる取組」から協働活動へつなげていきます。

② 協働

協働とは、同じ目的・目標に向かって、対等の立場で協力して共に働くことです。

保護者や地域住民等が計画段階から参画し、現状や課題、目標・ビジョンの共有ができたうえで、目標に向けた取組を進めてはじめて「協働」といえます。

現状や課題、目標・ビジョンについて、多様な関係者が当事者意識をもって協議し、共有する場が学校運営協議会や熟議です。

学校運営協議会や熟議で共有された目的・目標に向かって取組を進め（協働）、協働により得られた成功体験を更に学校運営協議会や関係者間で共有するために、協議会が主体となって学校評価を行います。



③ マネジメント

【学校教育法 第三十七条】 校長は、校務をつかさどり、所属職員を監督する。

校長は、学校の最終意思決定者として、学校内はもちろんのこと、地域や社会の動きを敏感に察知して、それに対応した組織改革を推進する責任と権限が付与されています。そのため、コミュニティ・スクールの運営の充実にあたっては、校長の強いリーダーシップが求められます。

(1) 学校内の組織体制と協働文化の構築

- 学校と地域の協働による取組を効果的に進めるための、教職員の役割分担と校内体制づくり、学校内の企画・調整機能、事務体制の強化
- 教職員と地域住民を効果的につなぐ交流機会の創出等を通じた、学校に関わる全ての関係者がチームの一員であるという意識の共有

(2) 学校の教育力を向上させるための工夫

- カリキュラムマネジメント
 - ・学校運営協議会委員の授業研究への参加
 - ・委員による授業評価
 - ・委員による意見や評価を反映したカリキュラム編成
- 地域との協働による取組を通じた教職員の資質・能力の向上
- 学校運営協議会から家庭や地域に向けた情報発信

(3) 学校関係者が持つ専門性やネットワークを生かした学校運営

- 様々な関係者の意見を踏まえた学校の課題・目標・ビジョンの設定と共有
- 地域との関係を構築し、多様な専門性を有機的に結び付け、学校が抱える課題の解決や目標達成に向けた協働を促進

【地教行法第47条の6 第3項】 校長は、委員の任命に関する意見を教育委員会に申し出ることができる。



地域とともにある学校

学校運営の基本方針の承認

教職員・地域住民・保護者で目標・ビジョンを共有



「熟議」の実施

地域貢献

防犯・防災

小中一貫教育

キャリア教育



見守り隊



HPによる情報公開

学校支援活動



公開授業

「地域に開かれた学校」

学力向上

地域課題解決学習

地域学校協働活動

いじめ・不登校

学校関係者評価
PDCAサイクル

学校評議員制度

(これから)

(従来)

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



学校運営協議会

意思決定機関

主な仕事

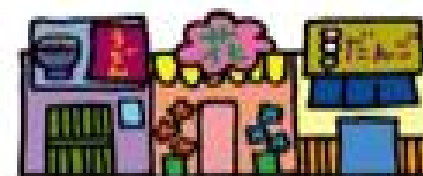
- ① 熟議
- ② 協働
- ③ マネジメント

地域とともにある学校づくり

学校

連携・協働

地域



地域学校協働活動

行動機関

活動例

- ・ 地域人材活用の教育支援
- ・ 防災学習
- ・ ふるさと発見学習 等

学校を核とした地域づくり



乗るのは
もちろん
子供たち

コーディネーター⇒軸(つなぐ)

自治会協議会
コミュニティ推進協議会
青少年育成市民会議
民生・児童委員の方々



今までも
学校と連携してやってきていた。

それを「コムスク」と名付けばよい。
〈連携・協働を意識して取り組めばよいのです〉

「学校を核とした地域づくり」へ

**→学校を媒介として
地域の人のつながりをつくる。**

6. 鹿沼市の状況①

★導入状況

- ・設置数...26学校運営協議会
- ・鹿沼市内全ての小中学校に設置

令和1年... 3小中学校

令和3年... 2小中学校

令和4年... 8小中学校

令和5年... 21小中学校

※合同での設置校あり

- ・年間3回～4回
- ・場所...学校、コミュニティセンター等

6. 鹿沼市の状況②

★ 委員内訳

PTA関係者 学校ボランティア 同窓会長
地域コーディネーター 元学校評議員
子供会・育成会 青少年市民会議
スポ少関係者 駐在（警察官）
コミュニティセンター職員 自治会関係者
民生委員・主任指導員

6. 鹿沼市の状況③

★ 支援体制と内容

鹿沼市コミュニティ・スクール連絡協議会

学校教育課

生涯学習課

・ 研修会 ・ 運営費 ・ 広報 ・ 相談

各学校連絡協議会（小中学校）

7-①. 実際の取組



「夏祭りの開催について」

- ・ 少子化により育成会単独では祭り開催は不可能
- ・ 協議会の委員の一人が事務局となり実行委員会が立ち上がり、自治会の協力のもと実施に至った...

7-②. 実際の取組



「子どもたちとの熟議」

- ・ 学校での生活のようす
(授業、行事など)
- ・ 学校生活で大変な事
- ・ 休日の過ごし方
- ・ 地域で生活していて、
困っていること

7-③. 実際の取組



放課後子ども教室



サマースクール

「学校支援ボランティアの活動について」

- ・ 活動場所、スタッフの確保等の課題
- ・ 現在の子どもたちのようす

7-④. 実際の取組



「学習発表会・授業参観を通して」
・校長の学校運営方針とその取組
について熟議



7-⑤. 実際の取組



7-⑥. 実際の取組



北押原クリーンマナーアップ作戦

大門宿交差点の歩道にある花壇の整備

地域、学校はそれぞれの良さがあります。

- ▶ 地域づくりも学校づくりも地域ごとの差が大きく、自然環境や歴史、産業、文化など大きく異なる。
- ▶ 各地域で実態に合った方法や展開を...

学校教育や子どもの育成に関わることを通じて

**地元の人をつながりを
しっかりつくること**

(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 廣瀬隆人先生の言葉より)

- ▶ 地域住民のつながりをより強めて、しっかりとした地域づくり、つながりづくり、仲間づくりを進めること
- ▶ そのために、学校や子どもたちと一緒に地域のために汗を流す人々を増やすということ
- ▶ 同時に子どもたちに地域への愛着心を育てて、地域づくりの担い手を育成することが目的
- ▶ 地域づくり = 人のつながり、
知人や友人を増やす活動

(一般社団法人とちぎ市民協働研究会 廣瀬隆人先生の言葉より)

ぜひ、皆様をお願いさせていただきたいこと

- ① 地域について知っていることを学校に教えてください
- ② 地域の人に積極的に声をかけてみてください
- ③ 先生に声をかけてみてください

（こんなことを聞くのもなあ・・・というようなことをどんどんお聞きしてみてください。）

これが、コミスクの第一歩です。

キーワードは、**「つながる」**です。





ありがとう
ございました